

事務事業名	28100 観光イベント事業	予算科目	会計 一般	款 7	項 1	目 3	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 (重点施策) 重1 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
基本施策	3 観光の振興	根拠法令	特になし						
施策の展開	7 観光情報発信の推進	戦略事業	35 観光イベント事業						
施策の展開		戦略事業							

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	●一年を通して行われる観光イベントへの支援やPRを行う。(実行委員会との打ち合わせ、補助金の交付やイベントの企画立案、準備及び後片付け従事。マスメディア(新聞、雑誌、TV、ラジオ等)を利用したイベント広報活動。ポスター作成。) ●観光イベントは、①実行委員会が開催(袋公園桜まつり、旭市いいおかYOU・遊フェスティバル、旭市七夕市民まつり、あさひ砂の彫刻美術展等)、②観光物産協会が開催(サマーフェスタin矢指ヶ浦等)③県等の団体、実行委員会が開催(ツールド千葉、JAFバスツアー)	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
主だった観光イベントは平成17年合併以前より、各市町(観光協会)、実行委員会が開催している。	市主催以外のイベントが活発に行われている。それらイベントを可能な限り自主財源で運営できるよう協力、指導していく必要がある。また、イベントの内容が多岐に渡り、市の協力の仕方も柔軟性が求められるが、市のイベント協力のガイドラインを定める必要も感じる。	市民が自主的に行うイベントに対して、テントの貸し出しや、会場や駐車場の使用許可など求められることが多い。また、新たなイベントの開催要求もある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算) 単位:千円	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	
1.七夕市民まつり補助金 7,500	7,500	7,500	9,000	7,500	7,500	
2.YOU・遊フェスティバル補助金 5,374	5,374	5,374	5,374	5,374	5,350	
3.あさひ砂の彫刻美術展補助金 2,000	1,500	1,500	1,500	2,000	1,500	
4.広告料 2,458	1,000	1,000	2,458	2,458	2,458	
5.その他 6,211	3,823	5,796	6,020	6,211	6,372	
② 特定財源の内訳(27年度の決算) 単位:千円	事業費計(A)	19,197	21,170	24,352	23,543	23,180
1.国庫支出金 0	1. 国庫支出金	19,197	21,170	24,352	23,543	23,180
2.都道府県支出金 0	2. 都道府県支出金					
3.地方債 0	3. 地方債					
4.その他 0	4. その他					12,850
	5. 一般財源	19,197	21,170	24,352	23,543	10,330

前年度増減理由	七夕市民まつり記念大会分補助金の減。
---------	--------------------

従事職員数 常時 5人 最大 13人 × 13日 = 延べ 169人

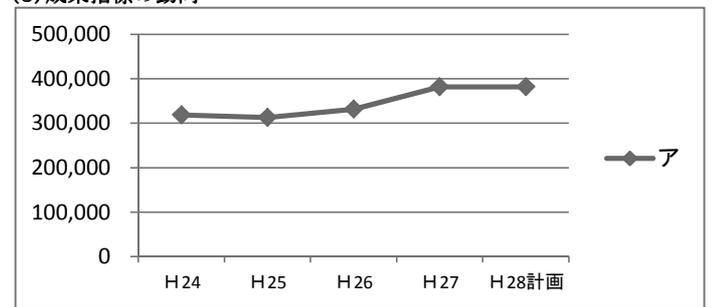
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動) 桜まつり、七夕市民まつり、YOU・遊フェスティバル、サマーフェスタin矢指ヶ浦及び砂の彫刻美術展への助成		イベント開催団体	団体	5	5	5	5	5
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	対象意図 ①市民②イベント参加者 ①市民同士、市民と市外からの方々との交流が盛んになる。 ②市外から多くの人が訪れる。		年度別イベント入込数	人	318,500	313,000	331,700	382,000	382,000

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果					
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	①	評価結果	コスト比率 下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通	ある程度ある	②				(6)
	小さい	ほとんどない	③				
			④⑤				
			⑥				
			⑦⑧				
			⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 成果指標イ 成果指標イのタイプ <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
③ 今年度取組事項(今年度新たに取り組み事項について記載)	時期 内容 通年 経費を増加させること無く、観光客の誘致に繋がるよう、より効果的なPRを図る。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(イベント内容の見直し)
評価内容	成果動向 ア 208,500 △ 5,500 18,700 50,300 0 イ
	補助金を支出している各イベントにおいて、従事職員数の減が図られるようイベントの企画段階からの市との関わりの見直しと、市補助金の見直しを各イベント団体と考えていく必要がある。